阪神・淡路大震災から29年…

もうすっかりむかしのこと…そう思っている人もいるとは思いますが、この大震災からは、この地球上に生かされている人間が、どのように生きるべきかを学ぶことができる大事にしなければならない出来事だと思います。1月17日朝、5時46分に神戸方面に向かって手を合わせることから、何かが始まる気がします…

3年の先生方、又みんなへ

2月の始めから今にいたるまでの、一か月弱の今思えば、あっという間のおつきあいでした。本当にありがとう。

ぼくは、22泉佐野第3中学に仮入学をしたのですが、実は、みんなも、知っているあの神戸を中心とした震災により、泉佐野市にきたのは、その2日後だったのです。

おきた時は、何があったのかと思う間もなくはげしい上下左右のゆれ、ゴゴゴゴゴゴガタンガタンというすごい音。そして電気をつけようとしてももちろんつくはずもなくまっくらやみ。一歩ふみだすとそこは、いままでとはちがうゆかへやのすみにおいてあったつくえや本だなが、どまん中でたおれていたり、そこになにがあるのかは、まったく光がないのでわからない。今なら少しどこかをさわれば、明るくなるのに、ただ、手さぐりで歩きだす。この時、神戸の100万人の夜景は黒一色だったろう。また、その間ずっとたえず火災ほうちきのベルがけたたましい音をならしつづけていた。

やっとの事で戸にたどりつくと、となりの家が、たおれてきていて、げんかんはつぶれて出られないじょうきょうがつづいた。①

ただその時は、本当に何も思わず「ただ生きる」この事だけに集中してたためかあまりその時の事はおぼえてないのだった。

家のゆの物がすべてこわれ、何時間たった時だろう。すこしづつ明るくなってきた。やっとの思いで、まどから外へ出てみるとそこは、昨日までみんなで自転車で走りまわってた、いつも学校へ行っていたあの神戸ではなかった。

空には、赤いけむりが何本も立っていたり、黒い灰が雨のようにふってくる。近くでは「たすけてください！人がうまってるんです！。」とさけんでる人がたくさんいる。

火の方へ走ってみると、火は学校をつつんでいた。火事を見た人ならわかるだろうが、それが回り全て燃えているのだ。数メートルはなれても体は火然えるようにあつい。

地震は初めのゆれでつぶれる物はつぶれてしまう。そこには、テレビの言うような事はなく、最初の一撃で死ぬか、はさまれて内蔵破裂で死ぬか、燃け死ぬか、生きるか、本当にそれだけ。

ぼくの家の回りでも何人もなくなった。

目の前で声がきこえる。ほんの数メートル。でも木片にジャマされて今をのばせばとどきそうな所にいるのに。親の目の前でほんの1日前には、元気に小学校へ行っていた幼い兄弟の声がだんだん小さくなっていく。そんな光景が神戸で、わずか1日で54人以上の人が、消えていった。それでもみんな、今日1日を必死に生きようとがんばる。知人・友人・親・兄弟を亡くした人もないてばかりはいられずその日の水と食料をさがしに行く。

そんな中、ぼくは、おばさんにあたるA人にバイクでこの泉佐野市にたすけだされたのでした。そしておばさんの家でのんだ水のおいしかった事、本当にいきているんだ、光を見てはたすかったと思ってました。

ぼくは、みんなから見ればとても失礼になると思いますが、それから1か月ただ食べ、ねる、何も考えずただ日々をくり返す。そんな事をずっとやっていたのです。そんな時ずっと何をおもってたのかはおぼえておらず、ただボーッとしてたのです。友達の死をかなしんで泣く事もせず、かといって勉強するかと言えばせず。

そんな時、三中に仮入学をしたのです。おばさんの進めでした。これもまだ本当に失礼なんですが、最初、ぼくは「ただする事もなくいけいけとうるさいから」というしょうもない理由だったのです。でもそんなぼくを、校長先生・武田先生を始めとする先生達、そして3年のみんなに良くしてもらって、いろいろなくなった物なども

注・文中に「本当に」が多いのは、それしか言葉をしらなかっただけ

③

もらいとてもうれしかった、休み時間テスト中にもかかわらず変な転校生に声をかけてくれたり、一人でいるとみんなでさそってくれた。ときどき自分でもおかしな事をする変な子にやさしくしてくれた。本当にうれしかった。これは体育で一番・勉強でいい点を取った時のうれしさとはちがい、心の底からあたたかくなるようなうれしさだった。最初まったく考えなかったのに今では、この三中に来てみんなに会えた事がとても大切な宝物です。そしてみんながバスケや他の事で笑っているのを見れてうれしかったです。なぜかというと、読んだら笑うかもしれないけど「あぁ、ここではみんなふつうのくらしをして笑えるんだ。」と変な事を思ってたんです。

新聞にペンをにぎったままなくなった4人の子という題でのっていたクラスメイトもいたけれど、それはほんの一部で54人以上の人々の人生があり、それは地球のほんのぐうぜんでとざされてしまった人もいるという事をわすれないでほしい。今生きてるという事、したい事ができる事、なにげない生活ではわすれてしまいそうになるけども今回の体験でぼくは、何か身の回りにある大切な物を、見れたようにおもいます

三中に来てから、今までの神戸とまた一味ちがった学校でみんなやさしく、話しかけてくれたり、本当にうれしかった。みんなありがとう！

注・ひらがな・誤字が多いのはめんどくさがりでバカだから…きたない字でゴメンナサイ

④